

認知症の基本的理解

ステージアプローチとは

認知症の状態のステージに応じた支援を
初期からターミナル期まで
継続して展開していく
コミュニティケアのシステム

「長生きしても良い」 (G.A.さんの手記)

最近物忘れをするように成った 物忘れは悪い事です
なさない事です

物忘れは人にめいわくかける事はない だけどいやです
思うように言われぬから 思うことが言われぬのが悪い事です
早く死にたいです それほど物忘れはつらいです (中略)

物忘れする以前は思ふ事が出来た 畑仕事その他なんでも出来た…
何がしたくてもやる気があっても 何をして良いかわからない
する事を言ってもらったらまだやれる
何もする事がないから死んでも良いと思ふ
することが有ればまだまだ長生きしても良い

介護現場における 医療ニーズ

食 事

- 全身状態を反映する大切な指標
- 急に状態が変化した場合に確認すること
「食事や水分を摂れているか？」
「次の食事を食べたいと思うか？」
- 食事や水分の量は、
いつもと比べてどうか重要



食 事

- ・ 食事の中でも特に水分摂取量が重要
- ・ 高齢者は脱水に陥りやすい
 - ・ 水分には、お茶や水だけでなく、お味噌汁やエンシュアも含まれる
 - ・ 1日1000mlがおおよその目安
(心不全など病状により必要量は変わる)

看取りの プロセスとケア

いつから看取りは始まる？

- ・ 「今日から」ではなく
日常生活の延長線上にあるもの
- ・ 多くは余命の予測が難しく
徐々に体が衰えて、看取りを迎える

そのため・・・

日常生活の中の変化に注意



“先月までは、自分で体を起こすことができたのに…”

介護職の力が重要

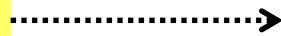
いつもその方をお世話している

介護職の方が気づく変化や

細やかなケアがとても大切！



変化に気付く



看取りに向けて
準備が始まる

急病の早期発見



細やかなケア

症状や衰弱の変化が
緩やかになりうる